



「知って  
ほしいな!」  
わたしたちのこと



ひとりひとりちがう みんなが  
楽しくすごすために

にがてなことは  
だれにでもあるよね

ボクは  
むずかしくてわからないこともあるけど  
少しずつゆっくり、ボクのペースで勉強  
しているんだよ。  
できることはみんなといっしょにやり  
たいな。

思っていることをうまく話せな  
いこともあるんだ。  
みんなもそんなとき、ないかな？

スイミングは自信が  
あるんだけどな～。



でもいっしょに遊んで  
いっしょに勉強しようよ

一度にいっぱい言わないで、  
ゆっくり、ていねいに話してほしいな。  
絵やメモを見せてくれるとわかりやす  
いんだけど…。

わたしは  
みんなのように速く走ったり、  
とびばこをとんだりでき  
るようになりたいな～。  
がんばっているけど、なぜか  
うまくできないの。

ルールを覚えるのは  
にがてだけど、  
みんなといっしょに  
遊びたいの。

絵をかくのよ。  
大好きなのよ。



わたしも自分で  
やってみたいの。  
がんばっている時  
はちょっとまって  
てほしいな～。

お気に入りのグッズがなかったり、  
予定が急に変わったりすると  
とても不安になるんだ。

ぼくはいつも  
同じことを言っちゃうんだ。  
やめたいんだけど、  
どうしても言っちゃうの。  
こうふんしたら大きな声を出し  
てしまうんだ。

人がいっぱいいると  
しんどくなることもあるよ。

でもぼく、  
漢字は得意なんだ。



みんなといると楽しいけど、  
時々ひとりになりたくなるんだ  
そんな時は そうっとしておいてね。

いつもとちがうことをする時は、  
はやめに教えてほしいな。

ひとりひとり、顔も せいかく  
も 得意なこともみんなちがいま  
す。

同じ人は一人もいません。

だれにでも にがてなことがある  
でしょう？

がんばってできることもあるけ  
れど、できないこともあるよね。  
どんなときでも やさしい気持  
ちで ささえあえる なかまが  
いたら、

ひとりひとりちがうみんなが  
楽しくすごせるのではないで  
しょうか。

方へ  
おうちの

“知的障害”とは、出生時のトラブルや、病気、ケガなどで、脳に小さな損傷が生じたり、染色体異常などが原因で、記憶する力や理解する力、人とのコミュニケーション力、気持ちを整理する力などの発達につまずきがあり、その理解が不十分ために学校生活や家庭生活において“困難”が生じている状態です。その表れ方も個性的で、その子なりの成長の仕方があります。

子どもたちは周りの人たちからのちょっとした言葉遣いや行動によって救われたり傷ついたりします。

世の中には色々な人がいて、それぞれが大切な存在なのです。

## 『この子らを世の光に』という言葉をご存知ですか？

これは、昭和21年滋賀県に近江学園という障がい者施設を創立し、“障がい者福祉の父”と呼ばれた糸賀一雄さんの言葉です。

「どんなに重い障害をもっていても、人間として生まれ、その人なり人間になろうとしています。このこと自体がとても尊く、その真実の生き方が世の光となるのです。」

**わたしたちは、この子らが光りかがやくことができる世の中になってほしいと願っています。それは、お互いが認め合い、全ての人が光りかがやく世の中です。**

監修

榊原 俊彦

(奈良県特別支援学校長協会会長)

西浦 正翁

(奈良県特別支援学級設置学校長協会会長)

山本 敏久

(奈良県教育委員会学校教育課主幹)

中川 貴明

(奈良県立教育研究所・特別支援教育部長)

平田千江子

(奈良県障害福祉課・社会参加促進・療育担当主幹)

川本 肇

(一般社団法人・奈良県手をつなぐ育成会理事長)

一般社団法人

奈良県手をつなぐ育成会

1963年、知的な障害のあるわが子の幸せを願い、教育・福祉・就労などの環境の整備、充実を求めて、関係者、市民の皆さんに呼びかけて親の会として発足し活動を続けています。

〒634-0061

橿原市大久保町 320-11

奈良県社会福祉総合センター内

電話 0744-29-0150

E-mail n-ikuseikai@blue.ocn.ne.jp

お子さんと一緒に障害のある子どもたちのことや、周りの色々な友だちのことを考えるきっかけにこのリーフレットを使っていただければ幸いです。

赤い羽根  
共同募金

このリーフレットは、みんなの募金でつくられています。